

## N1B1

### 取扱説明書

#### 目次

はじめに	2
安全上のご注意	3
各部の名称	10
仕様	12
ご使用前の準備	13
調整方法	16
作業手順	24
エラー表示一覧	29
各エビナットの出力設定表	30
故障かな?と思ったら	31
部品の注文方法	33

本機はエビナット専用工具です。

この度はエビ印コードレスナッターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- ・お読みになった後も、大切に保管してください。
- ・操作ができなくなった場合は「故障かな?と思ったら (P.31)」をご覧ください。
- ・本書の内容は改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本書の内容の一部又は全部を無断で公開、複写、翻訳することは禁じられています。

株式会社 ロブテックス

コールセンター

TEL (072) 980-1111 FAX (072) 980-1166

〒579-8053 大阪府東大阪市四条町 12-8

ホームページ <https://www.lobtex.co.jp/>

No: NEN1B1SM1A50

# ●はじめに

このたびは、エビ印コードレスナッター（以降、本機と省略します）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・本機は、エビ印ブラインドナット（以下、エビナットと省略）をかしめ締結させるためのエビナット専用工具です。他の用途を意図した設計・製造・販売はいたしておりません。
- ・お使いになるエビナットの仕様や強度は、お客様において十分設計検討されたエビナットをご使用ください。

## 1 安全ガイド、かんたんガイド及び取扱説明書(本書)

本機の使用説明は、安全ガイド、かんたんガイド、取扱説明書（以下、本書と省略）に分かれています。必要な情報に応じて、安全ガイド、かんたんガイド、本書を参照してください。お使いになるエビナットの仕様や強度は、お客様において十分設計検討されたエビナットをご使用ください。

安全ガイドに 記載している主な内容
----------------------

- ・電動工具の一般的な安全上の警告・コードレスナッターの安全上の警告／注意

かんたんガイドに 記載している主な内容
------------------------

- ・各部の名称 ・セット内容 ・初期設定方法 ・シリアル No.

取扱説明書（本書）に 記載している主な内容
--------------------------

- ・安全上のご注意 ・各部の名称 ・仕様 ・ご使用前の準備 ・調整方法
- ・作業手順 ・エラー表示一覧 ・各エビナットの出力設定表 ・故障かな？と思ったら
- ・部品の注文方法

## 2 重要なお知らせ

- ・本機を取り扱う前に、必ず本書及び安全ガイド・かんたんガイドをよくお読みください。また、本機の手取り扱いや付属品の交換、及び部品交換は本書の記載内容に従ってください。
- ・本書及び安全ガイド・かんたんガイドの内容につきまして、ご不明な点やご質問がございましたら、お買い求めの販売店、又は株式会社ロプテックス（以下、当社と省略）コールセンターにお問い合わせください。
- ・本機に混在する危険の全てを予測し、本書及び安全ガイド・かんたんガイドに記載することはできません。本機を取り扱うときは、本書及び安全ガイド・かんたんガイドに記載されていることだけでなく、安全対策に関して十分配慮してください。
- ・本書及び安全ガイド・かんたんガイドは、日本語を原語として作成しています。お客様の責任において本書及び安全ガイド・かんたんガイドの内容を十分に理解してください。
- ・本書及び安全ガイド・かんたんガイドの著作権は当社が所有します。本書及び安全ガイド・かんたんガイドの内容を無断で公開・複写・複製、又は別の言語に翻訳することは禁じられています。

## 3 免責について

- ・本機の誤用・乱用・無断改造等が原因で発生した直接、又は間接の傷害や損失利益の補償及びブラインドナットの強度等ブラインドナット自身に関する保証はいたしません。
- ・当社には、当社の文書による承認のない改造により発生した一切の損害、又は障害に対して何らの責任はないものとします
- ・当社には、推奨部品以外の部品の使用により発生した一切の損害、又は障害に対して何らの責任はないものとします。

取扱説明書改訂履歴
品名：コードレスナッター
型式：N1B1
初版発行年月日      2024年11月

## ●安全上のご注意



◆ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、十分理解したうえで正しく安全に使用してください。



◆本機をご使用中は、必ず保護めがねを着用してください。部品の飛び出し等により、事故や障害（視力低下など）を負う恐れがあります。



◆本機をご使用中は、必ず防音用保護具を着用してください。

◆ここに示した注意事項は **△警告** と **△注意** に区分けしていますが、それぞれの意味は下記のとおりです。



**警告** : 誤った取り扱いをした際に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



**注意** : 誤った取り扱いをした際に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合の内容のご注意。

なお、**△注意** に記載した事項でも重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

## △電動工具の一般的な安全上の警告

### 警告

すべての安全上の警告とすべての指示をお読みください。警告や指示に従わない場合、感電、火災、重傷を負う可能性があります。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

## △警告

### 1. 作業環境

- 作業場を清潔に保ち、明るい場所に保ってください。雑然とした場所や暗い場所は事故を招きます。
- 引火性の液体、ガス、粉塵が存在するなど、爆発性雰囲気内で電動工具を操作しないでください。電動工具は火花を発生させ、粉塵や煙に引火する可能性があります。
- 電動工具の操作中は子供や周囲の人を近づけないでください。気を散らすとコントロールを失う可能性があります。



必ず行う

### 2. 電気に関する安全事項

- 電源プラグは、適切なコンセントに差し込む必要があります。改造したり、アダプタープラグを使用しないでください。これにより、感電のリスクを軽減できます。
- 感電の危険性が高まるため、パイプやラジエーターなどの接地された表面に触れないようにご注意ください。

# 警告

- c. 電動工具を雨や濡れた状態にさらさないでください。電動工具に水が入ると、感電の危険が高まります。
- d. 電源ケーブルを電動工具の持ち運び、引っ張り、電源プラグの抜き差しに使用しないでください。電源ケーブルを熱、油、鋭利な部分、また可動部品から遠ざけてください。電源ケーブルが損傷したり絡まったりすると、感電の危険が高まります。
- e. 屋外で電動工具を操作する場合は、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外での使用に適した延長コードを使用すると、感電の危険が軽減されます。
- f. 湿気の多い場所で電動工具を操作することが避けられない場合は、残留電流装置 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCD を使用すると、感電の危険が軽減されます。

## 3. 作業者に関する安全事項

- a. 電動工具を操作する際は、常に注意を払い、自分の行動に気をつけてください。疲れているときや薬物、アルコールの影響下では使用しないでください。不注意は重大な事故につながります。
- b. 保護めがね、防塵マスク、滑り止め安全靴、ヘルメット、防音用保護具などを適切に使用してください。これにより、けがのリスクを軽減できます。
- c. 電源や電池パックに接続する前に、スイッチがオフになっていることを確認してください。スイッチが入ったままの状態 で 工具を持ち運ぶと、事故の原因になります。
- d. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチを取り外してください。これにより、回転部分に取り付けたままの工具が原因でけがをするリスクを減らせます。
- e. 無理をせず、常に適切な足場とバランスを保ってください。これにより、予期せぬ状況でも工具を安全に制御できます。
- f. 緩い衣服や装飾品を避け、髪や手袋を可動部分に近づけないようにしてください。これにより、巻き込まれるリスクを減らせます。
- g. 粉塵の抽出および収集装置が提供されている場合は、それらを適切に使用してください。これにより、粉塵による危険を軽減できます。
- h. 工具の使用に慣れても、安全原則を無視しないようにしてください。不注意な行動は重大な事故を引き起こす可能性があります。

## 4. 電動工具の使用と手入れ

- a. 電動工具を無理に動かさないでください。アプリケーションに適した電動工具を使用してください。適切な電動工具は、設計された速度で作業をより適切かつ安全に実行します。
- b. スwitchが故障している場合は、電動工具を使用しないでください。
- c. 調整や付属品の交換、保管を行う前に、必ず電源プラグを外すか、電池パックを取り外してください。これにより、誤って工具が始動するリスクを減らせます。



必ず行う

# 警告

- d. 使用していない電動工具は、思わぬ事故を防ぐため子供の手の届かない場所に保管し、訓練を受けていない人には操作させないでください。
- e. 電動工具の可動部品の位置ずれや固着、部品の破損などを定期的に確認し、損傷が見られる場合はすみやかに修理を依頼してください。メンテナンスが不十分な工具は思わぬ事故の原因となります。
- f. 切削工具を鋭く清潔に保ってください。適切にメンテナンスされた鋭い刃先を備えた切削工具は、固着しにくく、制御が容易になります。
- g. 電動工具やその付属品やビットなどは、作業条件や内容に応じて正しく使用してください。本来の目的とは異なる作業に使用すると、危険な状況が生じる可能性があります。
- h. ハンドルとグリップは、乾燥した清潔な状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。滑りやすい状態では、工具を安全に取り扱うことが難しく予期せぬ事故を招く危険性が高まります。

## 5. 充電式工具の使用と手入れ

- a. メーカー指定の充電器のみを使用して充電してください。異なる充電器を使用すると、火災の危険があります。
- b. 電動工具には、メーカー指定の電池パックを使用してください。異なる電池パックを使用するとけがや火災のリスクが高まります。
- c. 電池パックを使用しないときは、クリップ、コイン、鍵、釘、ネジ、その他の小さな金属物体から遠ざけてください。電池パックの端子間をショートさせると、火傷や火災の原因となることがあります。
- d. 過酷な条件下では、電池パックから炎症や火傷を引き起こす液体が噴出する可能性があります。誤って触れてしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。万が一液体が目に入った場合は、すみやかに医療機関を受診し医師の診察を受けてください。
- e. 損傷または改造された電池パックや工具は使用しないでください。損傷または改造された電池パックは、予期せぬ動作を示し、火災、爆発、または怪我の危険を引き起こす可能性があります。
- f. 電池パックや工具を火元や過度の温度下にさらさないでください。火にさらしたり、130°C を超える温度下では、爆発を引き起こす可能性があります。
- g. すべての充電指示に従い、指示に指定されている温度範囲外で電池パックやツールを充電しないでください。不適切な温度での充電は、電池パックの損傷や火災のリスクを高めます。

## 6. サービス

- a. 電動工具の修理は、同一の交換部品のみを使用して資格のある修理担当者に依頼してください。これにより、電動工具の安全性が確保されます。
- b. 損傷した電池パックの修理は絶対に行わないでください。電池パックのサービスは、製造元のみが行うことができます。



必ず行う

# △コードレスナッターの安全上の警告・注意

## 警告

すべての安全上の警告とすべての指示をお読みください。警告や指示に従わない場合、感電、火災、重傷を負う可能性があります。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

## 警告

1. 充電時、所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合、充電を停止する。
  - ・ お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。充電を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
2. 電池パックの臭い、発熱、変色、変形、その他今までと異なることに気づいた場合は、直ちに使用を中止し、本機あるいは充電器より取り外す。
  - ・ お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
3. 定格表示してある電源で使用する。
  - ・ 直流電源やエンジン発電機、変圧器、昇圧器等のトランス類等では使用しないでください。異常発熱、発火の原因になるおそれがあります。
4. 電池パックは、換気の良い所で充電する。
  - ・ 電池パックや充電器を、充電中に布等で覆わないでください。発熱、発煙、発火等の原因になるおそれがあります。
5. 充電器の使用中に発煙、臭い等の異常が発生した場合、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。
  - ・ お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
6. 電池パックが液漏れしたり臭いが出たりする場合は、直ちに使用を中止し火気より遠ざける。
  - ・ お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
7. 電池パック及び充電器を丁寧に扱う。
  - ・ 電池パック及び充電器を落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。外郭ケースが破損した場合は使用しないでください。感電、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
  - ・ 電池パック及び充電器を分解したり、改造したりしないでください。感電、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
  - ・ 事故やけがの原因になるおそれがあります。
8. 電池パックが液漏れした場合、素手で液を触らず、以下の処置をする。
  - ・ 液が目に入った場合、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、医師にご相談ください。
  - ・ 液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流した後、医師にご相談ください。
  - ・ 液漏れした電池パックは使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店または当社にご相談ください。
9. 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
  - ・ 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になるおそれがあります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。
10. 使用中に、動作不良、発熱、発煙又は異音等の異常が認められる場合、直ちに電池パックを取り外し、使用を中止する。
  - ・ お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。
11. 専用の純正部品のみを使用する。
  - ・ 本書及び当社カタログに記載されている純正部品以外のものは使用しないでください。重大な事故やけがの原因になるおそれがあります。
12. 作業場の周囲状況も考慮する。
  - ・ 事故やけがの予防となります。



必ず行う



# 警告



必ず行う

13. 作業場は、十分に明るくする。
  - ・ 暗い場所での作業は、事故やけがの原因になるおそれがあります。
14. 保護具、保護めがねを常に使用する。
  - ・ 防塵マスク、安全靴、ヘルメット、防音用保護具等を適切に利用し、事故やけがを事前に防止してください。
15. 部品や付属部品の取り換えは指定の手順に従って行う。
  - ・ 指定の手順に従わないと、故障、事故やけがの原因になるおそれがあります。
16. 不意な作動は避ける。非作業時は、トリガースイッチに指や物を触れないようにする。
  - ・ トリガースイッチに指をかけて運ばないでください。不意に始動して、事故やけがの原因になるおそれがあります。
17. 使用しない場合、その他危険が予想される場合は、電池パックを本体から取り外す。
  - ・ 不意な作動等により、事故やけがの原因になるおそれがあります。
18. 保守、点検、部品の交換を行う際は、必ず電池パックを取り外す。
  - ・ 不意な作動等により、事故やけがの原因になるおそれがあります。
19. 2個以上の電池パックを連続して使用する場合は、本体を15分程度休止させる。
  - ・ 本体の温度が過剰に上昇し、火傷をするおそれがあります。



禁止

20. 充電器の使用温度範囲外では、電池パックを充電しない。
  - ・ 正しく充電されないばかりか、電池パックの寿命が短くなります。また、発熱、発煙、発火、破裂等の原因になるおそれがあります。
21. 劣化した電池パックは使用しない。
  - ・ 液漏れ、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
22. 電池パックを水のような導電体に浸さない。また電池パックの内部に水のような導電体を侵入させない。
  - ・ 電池パック内部に水のような導電体が侵入すると短絡し、発熱、発火、破裂のおそれがあります。
23. 使用済み電池パックは一般家庭ごみとして捨てない。
  - ・ 捨てられた電池パックがごみ収集車内等で破壊されて短絡し、火災等の事故の原因になるおそれがあります。
24. 強い静電気の発生する場所では使用しない。
  - ・ 異常動作、液漏れ、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
25. (+) と (-) とを逆に使用しない。
  - ・ 液漏れ、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
26. 電池パックを直接コンセントや自動車のシガレットライターに接続しない。
  - ・ 液漏れ、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
27. 電池パックを電子レンジや高压容器に入れる等して加熱や高圧を与えない。
  - ・ 液漏れ、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
28. 電池パックを指定機器以外の用途に使用しない。
  - ・ 液漏れ、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
29. 電池パックを取り外す際、電池パックにクリップ、コイン、鍵、ねじ又は釘等の金属類を近づけない。
  - ・ 電池パックが短絡し、感電、発熱、発煙、発火、破裂等のおそれがあります。
30. 電池パックの端子間を短絡させない。
  - ・ ピン等の金属類と一緒に持ち運んだり保管したりすると短絡して、発熱、発火、破裂等のおそれがあります。
31. 電池パックを火中に投入しない。
  - ・ 有害物質の発生、発熱、発火、破裂等のおそれがあります。
32. 電源プラグやケーブルが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しない。
  - ・ 感電、発熱、発煙、発火等のおそれがあります。
33. 可燃性の液体やガスのある場所で使用したり充電したりしない。
  - ・ 発熱、発火、爆発等のおそれがあります。
34. 雨中や湿った場所又は濡れた場所で使用したり充電したりしない。
  - ・ 感電、発熱、発煙、発火、破裂等の原因になるおそれがあります。
35. 濡れた手で電源プラグに触れない。
  - ・ 感電のおそれがあります。

# 警告



禁止

36. 疲れている場合やアルコール、治療薬物等により動作や思考力が低下しているときは使用しない。
  - ・ 重大な事故やけがの原因になるおそれがあります。
37. 改造はしない。また、分解したり修理をしない。
  - ・ 本機は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
  - ・ 修理は必ずお買い求めの販売店又は当社にご相談ください。ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になるおそれがあります。
38. ほこりや粉塵の多い場所で使用、保管しない。
  - ・ 内部に粉塵等の異物が入ると、発熱、発煙、発火等、事故の原因になるおそれがあります。
39. ナッターの先端をあなた自身又は他の人に向けない。
  - ・ 予期しない動作によりけがををするおそれがあります。
40. 適応サイズ以外のエビナットを使用しない。
  - ・ 事故やけがの原因になるおそれがあります。
41. 発煙したときは、煙を吸い込まない。
  - ・ 身体に害を及ぼすおそれがあります。
42. 通風孔をふさがない。
  - ・ やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。
43. 通風孔から出る熱風を直接肌に当てない。
  - ・ 高温になっており、火傷をするおそれがあります。
44. 作業直後は金属部分に触れない。
  - ・ 高温になっており、火傷をするおそれがあります。

# 注意



必ず行う

1. 充電器は、注意深く手入れを行う。
  - ・ 充電器の電源ケーブルは定期的に点検し、損傷している場合はお買い求めの販売店 又は 当社に修理を依頼してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
  - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
2. 充電器を使用しない場合は充電器の電源プラグをコンセントから抜く。
  - ・ 感電、火災等の事故の予防となります。
3. 電源プラグ及びコンセントにたまったほこりや汚れは、乾いた布でふき取る。
  - ・ 感電、火災等の事故の予防となります。
4. 充電時以外、電池パックは充電器から抜く。
  - ・ 感電、火災等の事故の予防となります。
5. 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。
  - ・ コードを持って抜くと感電、短絡の原因になるおそれがあります
6. 使用環境に合った延長コードを使用する。
  - ・ 屋外で充電する場合、キャプタイヤコード又はキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
7. 油断しないで十分注意して作業を行う。
  - ・ 本機を使用する場合は、取扱方法、作業方法、周囲の状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがのおそれがあります。
  - ・ 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがのおそれがあります。
  - ・ 疲れている場合は使用しないでください。事故やけがのおそれがあります。



# ⚠ 注意



必ず行う

8. 損傷した部品がないか点検する。
  - ・使用前に損傷がないか十分点検し、正常に動作するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の取付け状態、部品の破損、その他、運転に影響を及ぼす全ての箇所にも異常がないか確認してください。
  - ・トリガースイッチの操作で始動及び停止の出来ない場合は、使用を中止してください。異常動作により、事故やけがの原因になります。
9. 使用しない場合は、きちんと保管する。
  - ・乾燥した場所で、子供の手が届かない高い所又は鍵のかかる所に保管してください。事故やけがの原因になるおそれがあります。
10. 作業場は、いつもきれいに保つ。
  - ・散らかった場所や作業台は、事故の原因になるおそれがあります。
11. 雷が発生している場合は充電せず、電源プラグをコンセントから抜く。
  - ・落雷による故障、事故やけがの原因になるおそれがあります。
12. 適切な服装で作業する。
  - ・長い髪は帽子やヘアカバーで覆う等し、緩い衣服やネックレス等の装飾品は着用しないでください。巻き込まれ、けがの原因になるおそれがあります。
13. 購入後、初めて使用する際に、大きなさび、損傷、異臭、発熱又はその他異常が認められた場合は、使用を中止する。
  - ・お買い求めの販売店又は当社にご相談ください。使用を継続すると、事故やけがの原因になるおそれがあります。

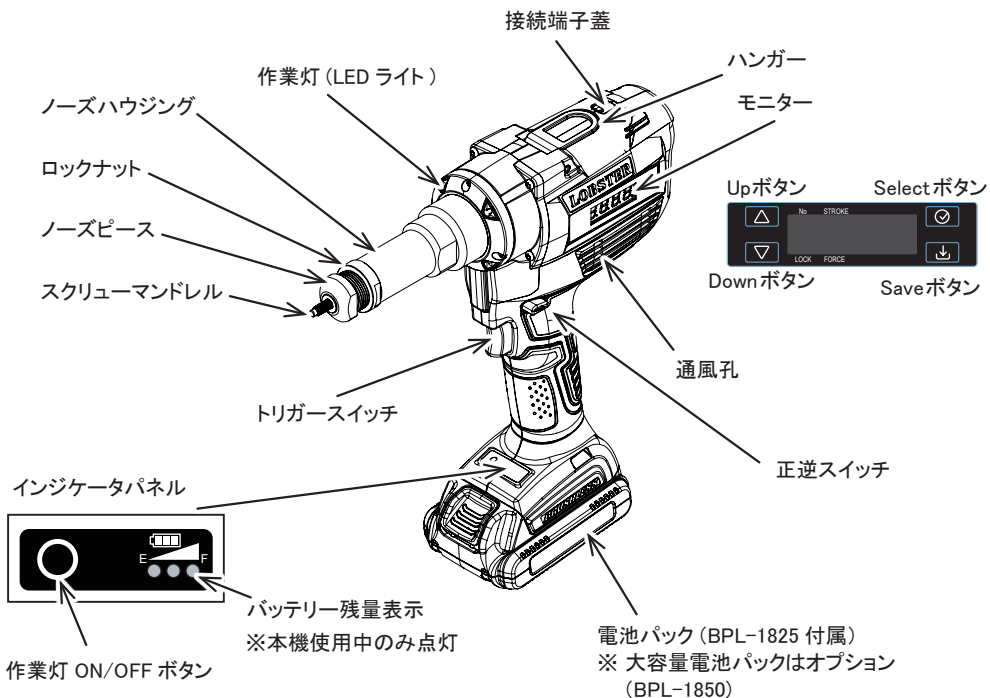


禁止

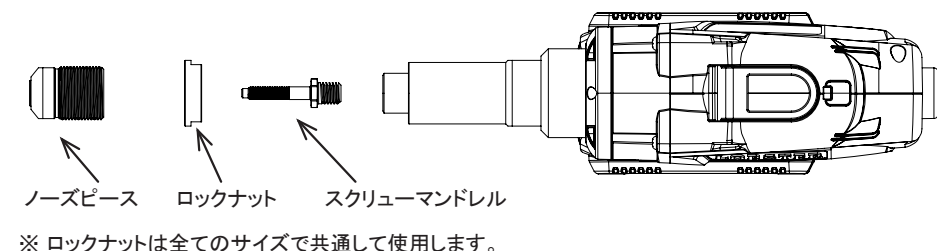
14. 高所作業の際、下に人がいないことを確認し、人がいる場合は作業を行わない。
  - ・材料や本機の落下等、事故の原因になるおそれがあります。
15. 本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がるまで作業を行わない。
  - ・守らないと火傷をするおそれがあります。
16. 充電器の電源ケーブルを乱暴に扱わない。
  - ・電源ケーブルを持って充電器を運んだり、電源ケーブルを引っ張ってコンセントから抜いたりしないでください。
  - ・電源ケーブルを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
  - ・電源ケーブルが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷する事がないように充電する場所に注意してください。感電やショートによる発火のおそれがあります。
17. 温度が 50°C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車中等）に保管しない。
  - ・劣化の原因になり、感電、発熱、発煙、発火、破裂等の原因になるおそれがあります。
18. 無理して使用しない。
  - ・安全に能率よく作業するために、能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は事故の原因になるおそれがあります。
  - ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発熱、発煙、発火のおそれがあります。
19. 無理な姿勢で作業しない。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、事故やけがの原因になるおそれがあります。
20. LEDライトの光を直接目に当てない。
  - ・LEDライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になるおそれがあります。
21. 子供を近づけない。作業員以外、本機や充電器、電源ケーブルに触れさせない。
  - ・トラブル、事故やけがの原因になるおそれがあります。
22. 不必要な油や異物がついた状態で使用しない。
  - ・落下して事故になるおそれがあります。また、内部に侵入すると、感電、発煙、発熱、発火、破裂のおそれがあります。かわいた布などで除去してください。

# ●各部の名称

## ●本体 (N1B1)



## ●締結ナット変更時の交換部品



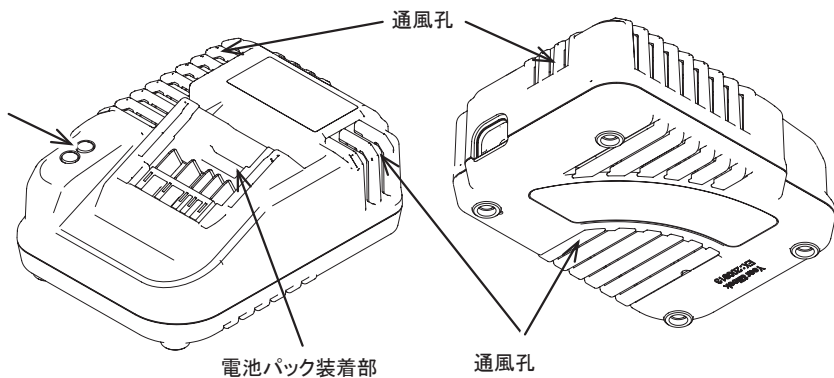
### <ポカヨケツールの取り付け>

専用のポカヨケ取付キット (PYSN1H80) を購入いただくと、ヘルツ電子株式会社のポカヨケツール (品番 TW-800T) が取り付けできます。

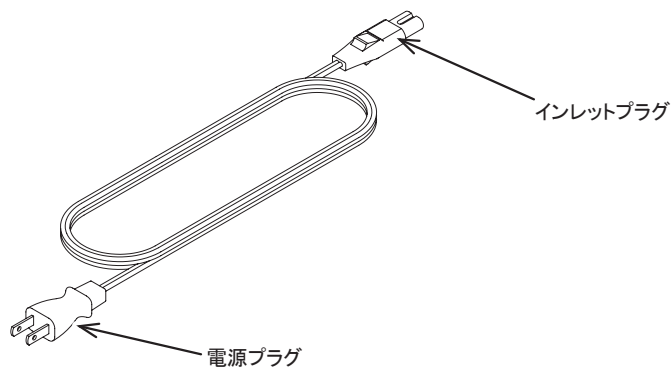
※ 無線送信機の仕様並びにポカヨケ取付キットにつきましては弊社コールセンターにお問い合わせ下さい。

## ●充電器

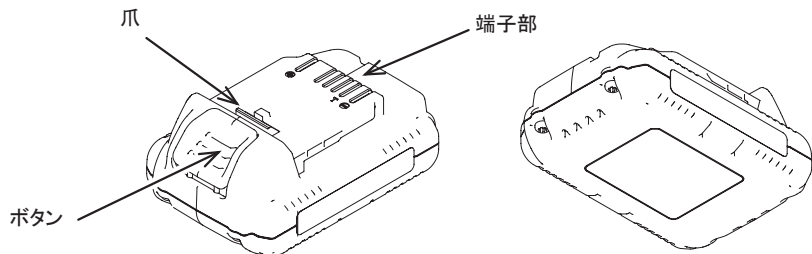
LED ランプ  
緑色・赤色



## ●電源ケーブル



## ●電池パック



# ●仕 様

取付電池容量		標準容量	大容量 (オプション)
本 体	品番	N1B1	
	重量	2.6 kg	2.9 kg
	使用電源	18V d.c.	
	寸法 (M6 仕様時)	L292 × W76 × H285 mm	L292 × W76 × H304 mm
	工具ストローク	0.1mm ~ 10 mm	
	公称出力	19.6 kN	
	適応サイズ	M3、M4、M5、M6、M8、M10 (エビナット)	
	動作環境	周囲温度	
	騒音	0 ~ 40 °C	
振動	L <sub>PA</sub> = 79.7 dB(A), L <sub>WA</sub> = 87.7 dB(A)、K <sub>PA</sub> /K <sub>WA</sub> = 3dB(A) 2.5 m/s <sup>2</sup> or less , Measurement uncertainty K= 1.5m/s <sup>2</sup>		
電 池 パ ッ ク	品番	BPL-1825	BPL-1850
	電池種類	Li-ion 充電電池	
	定格電圧	18 V d.c.	
	定格容量	2.5Ah	5.0Ah
	充電時間 満充電 (実用充電)	65 分 (60 分)	135 分 (125 分)
	重量	400 g	690 g
	寸法	L116 × W76 × H49 mm	L116 × W76 × H68 mm
充 電 器	品番	BC037T	
	使用電源	100V ~ 50/60Hz 60W	
	定格充電電圧	20.75 V d.c.	
	定格充電電流	2.3 A	
	寸法	L145 × W109 × H70 mm	
	重量	395 g	
	動作環境	周囲温度	
		0 ~ 40 °C	

※ 製品の仕様、デザインは予告なく変更することがあります。

※ 寸法、重量等は標準値ですので多少の数値の上下があります。

※ 定格銘板の配置場所 (注意・警告銘板取り付け位置) は、本体上部側面及び本体底面にあります。

# ●ご使用前の準備

**1** ご使用前に電池パックを充電してください。(P.14 参照)

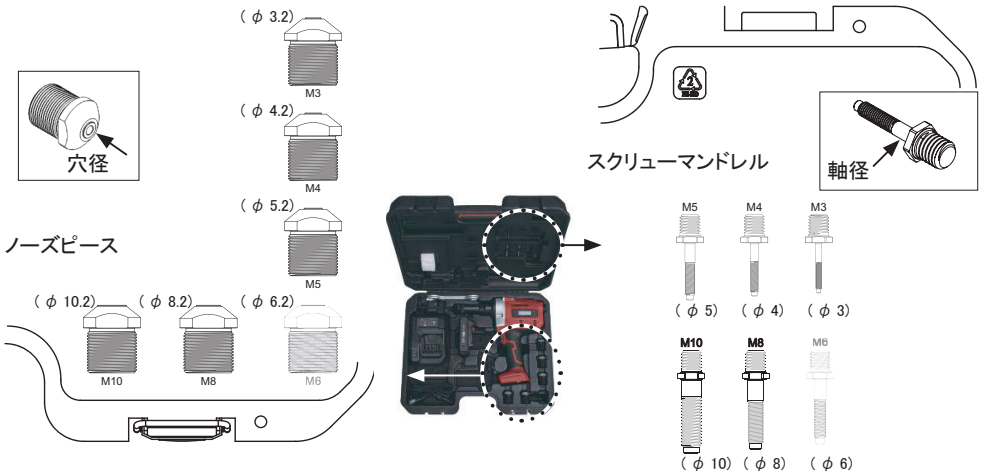
**2** ご使用のエビナットのサイズに合わせて部品（ノズピース、スクリーマンドレル）を交換してください。(P.16 参照)

エビナットサイズ (ねじ径)	スクリーマンドレル サイズ	ノズピース サイズ
M3	スクリーマンドレル M3	ノズピース M3
M4	スクリーマンドレル M4	ノズピース M4
M5	スクリーマンドレル M5	ノズピース M5
M6	スクリーマンドレル M6	ノズピース M6
M8	スクリーマンドレル M8	ノズピース M8
M10	スクリーマンドレル M10	ノズピース M10

ノズピース、スクリーマンドレルの交換だけで各サイズの標準的なエビナットを締結できません。ご購入時には M6 サイズ用のノズピース、スクリーマンドレルが取り付けられています。

## ⚠ 注意

エビナットが取り込めても、正しくない組み合わせの部品で作業しないでください。故障や事故の原因となります。



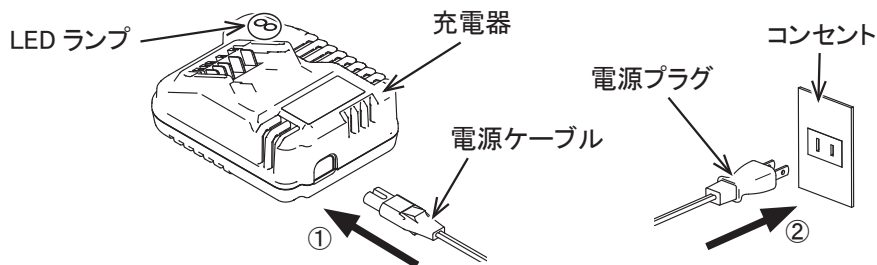
### <ノズピースとスクリーマンドレルのねじサイズ確認方法>

ノズピースとスクリーマンドレルにはねじサイズの表示がありません。ノズピースの場合は穴径、スクリーマンドレルの場合は軸径を測定しサイズの確認をしてください。

# 充電手順

充電には必ず専用充電器をご使用ください。

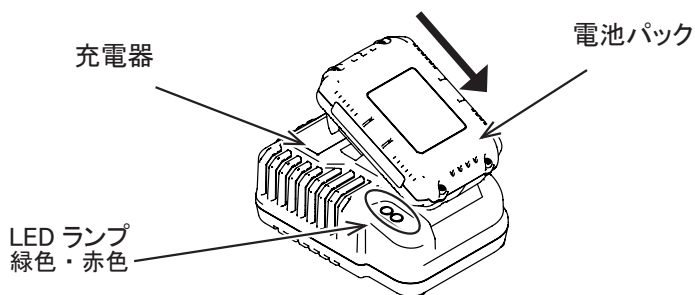
- 1** 充電器に電源ケーブルを接続し (①)、コンセントに電源プラグを差し込んでください (②)。通電すると緑色 LED ランプがゆっくり点滅します。



## ⚠ 注意

この充電器は交流 100V から 240V で使用できますが、日本国内においては安全規格上、交流 100V にてご使用ください。  
直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

- 2** 電池パックを充電器の奥までしっかり差し込んでください。奥まで差し込むと、LED ランプの点灯状態が変化します。各ランプの表示内容は次表のとおりです。



## LED ランプの点灯状態による充電器の状態

LED ランプ点灯状態		充電器の状態
赤色	緑色	
-	点滅 (低速)	充電待機中 (充電器が通電している状態)
点灯	-	充電中
-	点滅 (高速)	実用充電完了 (80% 充電完了)
-	点灯	満充電完了 (充電完了)
点滅 (低速)	-	適正温度外のため充電停止中
点灯	点灯	充電不可 (異常状態)

## ⚠ 注意

電池パックの温度が高いとき、または低いときは電池パックの保護のため充電されません。電池パックが適正な温度になると充電を開始します。  
充電は 0 ~ 40°C の環境で行なってください。

- 3** 充電が完了しましたら、電池パックを充電器から取り外し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 締結可能個数 (目安)

電池パック満充電の場合の連続締結可能個数です。 [ 個 ]

エビナットねじ径	電池パック 2.5Ah (標準)	電池パック 5.0Ah (オプション)
M3	1,300	2,600
M4	1,300	2,600
M5	1,200	2,400
M6	1,000	2,000
M8	700	1,400
M10	600	1,200

※締結個数は目安です。

使用エビナット、板厚および電池パックの状態等によって変わります。



## ●調整方法

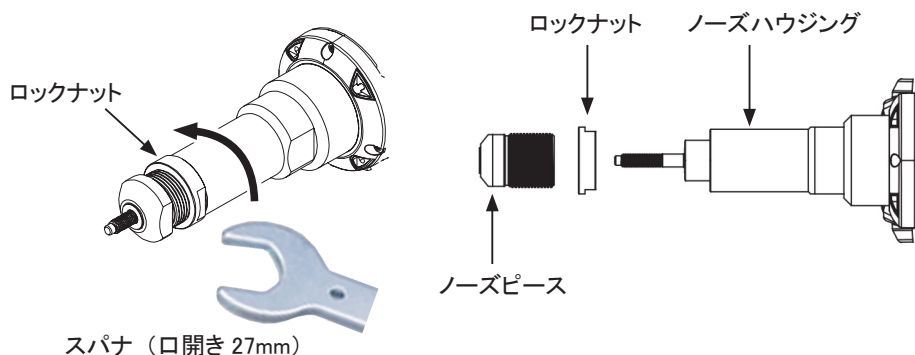
### スクリーマンドレルとノーズピースの交換 及び 調整方法

- 1 電池パックを必ず取り外して下さい。

#### ⚠ 注意

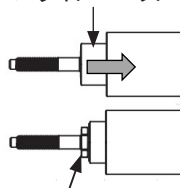
電池パックを取り外さずに、部品の交換、スクリーマンドレルの突き出し調整等の作業をすると、意図しない状況で本機が動作しけがをする可能性があります。

- 2 付属のスパナ（口開き 27mm）でロックナットを緩めてノーズピースとロックナットをノーズハウジングから外して下さい。



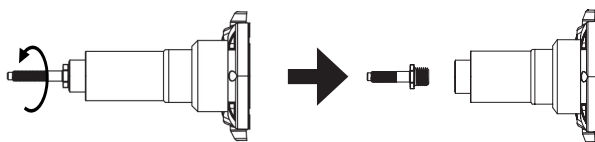
- 3 スライドユニットをスクリーマンドレルのツバが見えるまで後方に引いて①、スクリーマンドレルを手で回して取り外して下さい②。

- ① スライドユニット



スクリーマンドレルのツバが見えるまで引く

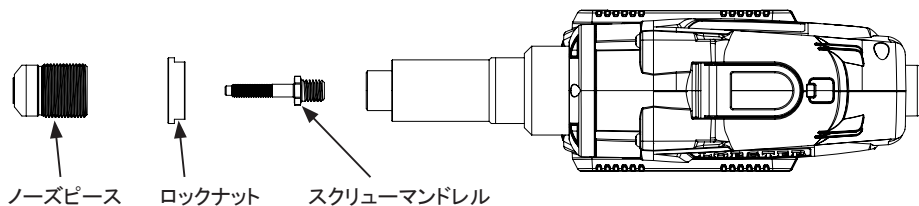
- ②



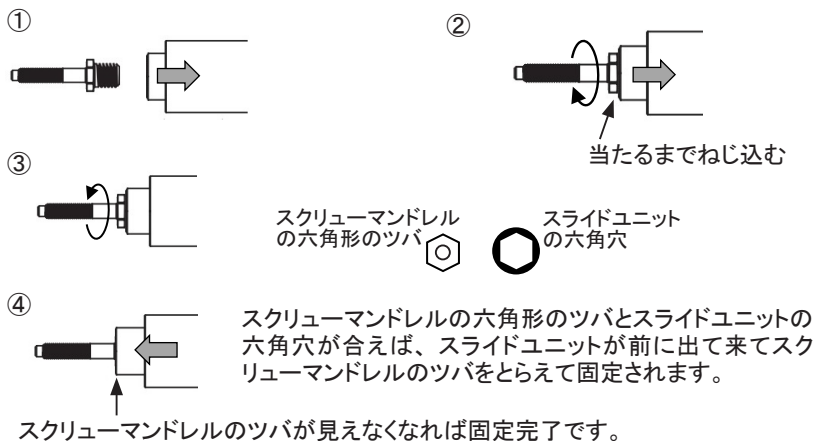
#### ⚠ 注意

スクリーマンドレルに傷や切粉が付着していると指を怪我する場合がありますので、ご注意ください。

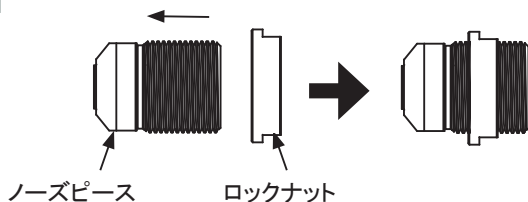
- 4** ノーズピースとスクリーマンドレルをご使用になられるサイズに交換してください。ロックナットは全サイズ共通で使用します。



- 5** スライドユニットを指で後方に引いた状態①で、スクリーマンドレルをツバが当たるまでねじ込んでください②。その後、スライドユニットから手を離し、スクリーマンドレルをゆっくりと左に回し③、ツバがカチッと固定されるまで戻してください④。



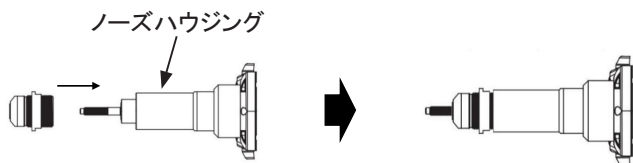
- 6** ノーズピースにロックナットを手で軽くねじ込んでください。



※スクリーマンドレルの突き出しを調整後に固定しますので、今は仮留めです。

7

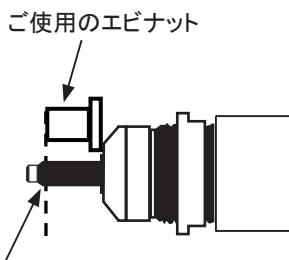
ノーズハウジングにノーズピースを軽くねじ込んでください。



※スクリーマンドレルの突き出しを調整後に固定しますので、今は仮留めです。

8

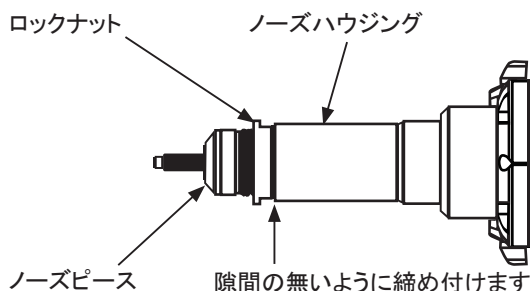
ご使用になられるエビナットを取り込んだ時（ナットをノーズピースに押し当てた時）にスクリーマンドレルの先端がネジ1山程度出るようにノーズピースの位置を調整してください。



1山程度出るように調整します

9

ノーズピースが動かないように掴んだ状態で、ロックナットを付属のスパナ（口開き 27mm）でしっかりとノーズハウジングに締め付けてください。

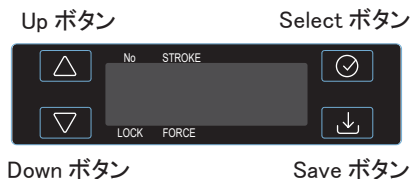


### ⚠ 注意

スクリーマンドレルの突き出しが大きすぎると、エビナットの取り込み不足になる可能性があります。逆に小さすぎるとエビナットをかした際にエビナットのねじ山を破損する可能性があります。

## ストロークと出力の入力方法 及び 調整方法

本機は、使用するエビナットと母材の厚みに合わせて、ストロークと出力を調整する必要があります。次の手順によりかきめストロークと出力を入力しつつ、エビナットのかきめしるが適正になるように調整してください。入力モニター表示画面の横のボタンで行います。



### ⚠ 注意

およそ3分間ボタン操作がなければ電源がOFFになります。入力が保存されていない場合、入力は反映されず前の設定状態に戻ります。

**1** トリガースイッチを引くと電源が入り、モニターに表示が点灯します。

**2** Select ボタン (⊙) を押します。(3 秒以上 5 秒未満)  
前 2 文字が全灯、後 2 文字が半灯、2 文字目のバーが中央の位置となり、設定を保存するメモリー番号の選択画面になります。Up ボタン (▲)・Down ボタン (▼) を押して登録するメモリー番号を選択してください。(本機はメモリー番号 0 ~ 9 の 10 の設定を保存することが出来ます。)



**3** Select ボタン (⊙) を押してストローク入力に進みます。(3 秒未満)  
前 1 文字が半灯、後 3 文字全灯、2 文字目のバーが上の STROKE の位置に移動し、ストロークを入力する画面になります。Up ボタン (▲)・Down ボタン (▼) を押してストロークを入力してください (長押し早送り)。ストロークは 0.1mm 刻みで 0.1 ~ 10mm の間で設定出来ます。

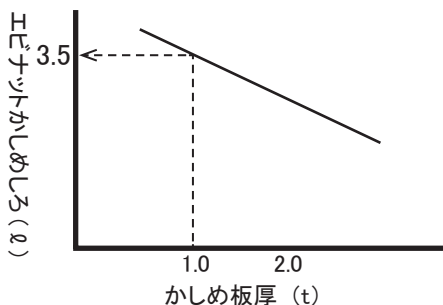


### ⚠ 注意

Select ボタン (⊙) を 3 秒以上押し続けると入力を破棄して初期画面へ戻ります。

入力するストロークの値については、母材の厚みを確認し、ご使用になられるエビナットに付属のかしめしろ表から適正かshiめしろを確認してください。

(例) エビナットのかしめしろ表が右のとき、母材の厚み(かしめ板厚)が1.0mmとすると、適正かshiめしろは3.5mmとなります。



**△ 注意**

機体による個体差がありますので、最後に必ず調整を行う必要があります。

**4**

Select ボタン (●) を押してかshiめ出力入力に進みます。(3秒未満)

前1文字が半灯、後3文字全灯、2文字目のバーが下の FORCE の位置に移動し、出力を入力する画面になります。Up ボタン (▲)・Down ボタン (▼) を押して出力を入力してください(長押し早送り)。出力は1刻みで01～99の間で設定出来ます。



入力する出力値については、P30の各エビナットの出力設定表より使用するエビナットの数値を確認してください。



(例) エビナット NSK-6M をご使用の場合、出力設定表より設定は「60」となります。

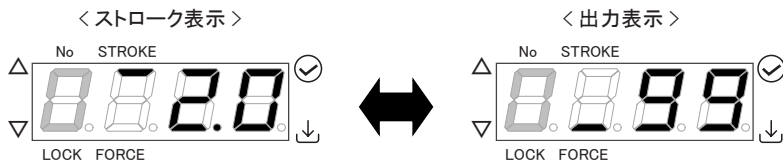
※ 他社ブラインドナットなど出力設定表に無いブラインドナットを使用する場合は「99」を入力してください。

※ かshiめ出力の設定は、かshiめ過ぎ(2度かshiめなど)によるスクリーマンドレルの破損やエビナットのねじ山破断を防止する機能で、出力の調整によりかshiめ状態をコントロールする機能ではありません。この機能が不要な場合は「99」に設定してください。





**△ 注意**

1. 数値はあらかじめ設定された出力を呼び出す番号で実際の出力値ではありません。
2. Select ボタン (●) を3秒以上押し続けると入力を破棄して初期画面へ戻ります。

- 5** Save ボタン (  ) を押す。(2 秒以上) [設定完了]  
**2** で選択したメモリー番号に設定が保存されます。入力した設定値を確認したい場合は Select ボタン (  ) を押して下さい。ストロークと出力の設定値が表示されます。



**△ 注意**

1. Save ボタン (  ) では無く Select ボタン (  ) を押した (3 秒未満) 場合は、メモリー番号選択画面 **2** に戻ります。
2. Save ボタン (  ) では無く Select ボタン (  ) を 3 秒以上押した場合は、新たに入力した設定を破棄して初期画面へ戻ります。

- 6** ご使用のエビナットを実際にかしめて調整を行います。

- ① かしめる前のエビナットの全長を測定してください。
  - ② そのエビナットをかしめた後の全長を測定し、かしめる前の寸法から後の寸法を引いて実際のかしめしろを計算してください。
- ※ エビナットをかしめる際は P24 の作業手順を参照してください。



かしめしろ (ℓ) = かしめ前のナット全長 - かしめ後のナット全長

- ③ かしめしろが適正かしめしろの ± 0.3mm 以内になるように、ストロークの入力値を調整してください。  
 (ストロークの入力値を調整しても適正かしめしろまでかしまられない場合、出力が足りない場合があります。出力の入力値を1つつ上げて調整してください。)



**△ 注意**

1. 機体により個体差がありますので、同じエビナットをご使用の場合でも各機体ごとに調整が必要です。
  2. 設定値を上げる場合は徐々に上げてください。大きく上げ過ぎるとエビナットのネジ山を破損させたり、スクリーマンドレルなど機体を損傷させる可能性があります。
  3. ストロークが少な過ぎる場合または出力が弱過ぎる場合は、エビナットのかしめが足らず空回りする原因となります。
  4. ストロークが多過ぎる場合かつ出力が強過ぎる場合は、エビナットのかしめ過ぎでエビナットのネジ山が破断する原因となります。
- ※ストロークと出力の両方が大きい場合にナットが破断します。

# 入力ボタンロック方法

本機は入力ボタンをロックし、不意に設定が切り替わるのを防ぐことができます。

Up ボタン                      Select ボタン

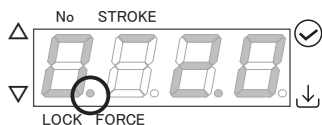


Down ボタン                      Save ボタン

**1** トリガースイッチを引いて、電源を入れます。

## 2 【ボタンロック】

Select ボタン (✓) を 5 秒以上長押しすると、ボタン操作がロックされます。  
1 文字目の後ろのドットが点灯し、その後すべての文字が半灯になります。  
表示はストローク設定のまま固定。

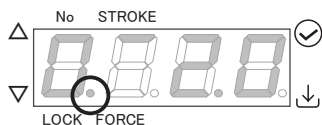


## 2 【ボタンロック解除】

ボタンロック状態で Select ボタン (✓) を 5 秒以上長押ししてください。

1 文字目の後ろのドットが消灯します。

すべての文字が全灯になり、ストローク→出カー→ストロークと切り替わり表示され、ストロークの表示で止まります。



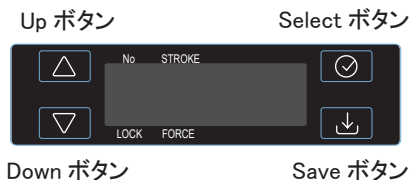
### ⚠ 注意

3 分間作動させずに放置した時や、電池パックを外して電源が落ちた時も、ボタンロックが解除されます。



# カウンター表示方法

本機はカウンターが備わっており、以下の手順でカウンターを表示することが出来ます。



## △ 注意

3分間作動させずに放置した時や、電池パックを外して電源が落ちた時、カウンター表示から初期画面に戻ります。  
※カウンターはリセットされません。

1 トリガースイッチを引いて、電源を入れます。

## 2 【カウンター表示】

Down ボタン (▽) と Save ボタン (⇩) を 1 秒以上同時に押すとカウンターが表示になります。4 文字すべてが数字となり、今までかしたナットの総数が表示されます。エビナットをかしめる度にカウンターが上がっていきます。

## △ 注意

カウンターは 9999 の次は 0000 に戻ります。



## 3 【カウンター表示解除】

カウンター表示状態で Down ボタン (▽) と Save ボタン (⇩) を 1 秒以上同時に押すと初期画面に戻ります。

## 4 【カウンターリセット】

カウンター表示状態で Select ボタン (✔) を 10 秒以上長押しすると、カウンターが 0 にリセットされます。



## 5 【カウンター表示のロック】

カウンター表示状態で Select ボタン (✔) を 5 秒以上長押しすると、1 番右のドットが点灯しカウンター表示のままボタン操作がロックされます。



## 6 【カウンター表示のロック解除】

カウンター表示ロック状態で Select ボタン (✔) を 10 秒以上長押しすると、1 番右のドットが消灯しボタンロックが解除されます。



## ●作業手順

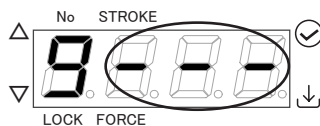
1 母材に、ご使用になられるエビナットに合った適正な下穴をあけて下さい。

2 電池パックを取り付け、トリガースイッチを引いて電源を入れます。

3 Up ボタン (▲) と Down ボタン (▼) を押して、あらかじめ登録されたメモリー番号 (0 ~ 9) を呼び出してください。



一番左がメモリー番号で 0 ~ 9 まで切り替わります。



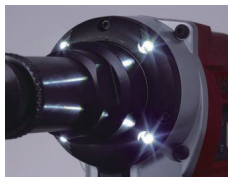
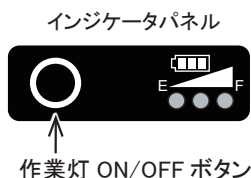
メモリー番号に設定が登録されていない場合は、「-」が表示されます。

新しく設定を登録する場合は P19 のストロークと出力の入力方法 及び 調整方法を参照してください。

4 作業灯 ON/OFF ボタンが ON になっている場合は、作業灯が点滅します。

作業灯の点滅はエビナットの取り込み待ちの状態を示しています。

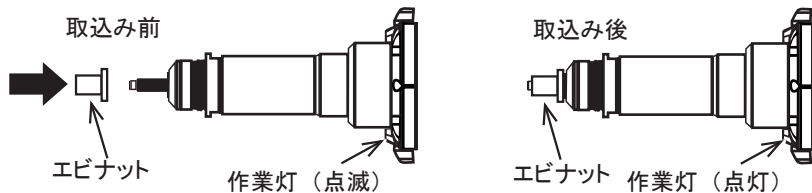
作業灯の ON と OFF の切り替えはインジケータパネルの作業灯 ON/OFF ボタンを押して切り替えてください。



＜作業灯 ON の時＞  
点滅 / エビナット取り込み待ち  
点灯 / エビナット取り込み完了

5 エビナットを軽くつまんでスクリーマンドレルに押し当ててください。スクリーマンドレルが正転し、エビナットが取り込まれます。(スクリーマンドレルが回転中は、そのままエビナットを押し続けてください。スクリーマンドレルは一定回数回転して止まります。)

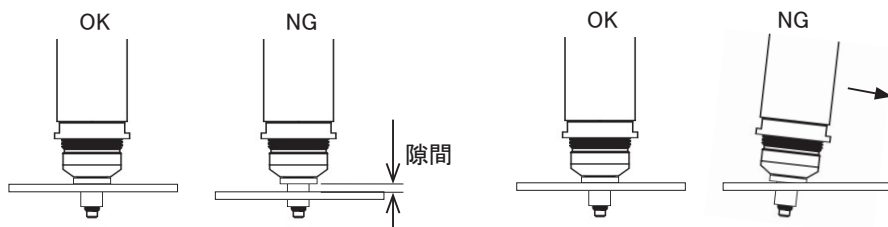
作業灯が ON の場合、エビナットが正常に取り込まれると作業灯が点滅から点灯に変わります。作業灯が点滅のままモニターに取り込みエラー表示が出ている場合はエビナットの取り込みに失敗しています。P26 の<トリガースイッチを引いてもエビナットがかしめられない>を参照に、スクリーマンドレルを逆転させてエビナットを取り外したあと、再度スクリーマンドレルに押し当ててエビナットを取り込み直してください。



### ⚠ 注意

正逆スイッチが逆転に入っていると、エビナットをスクリーマンドレルに押し当ててもスクリーマンドレルは回転しません。正逆スイッチが正転になっていることを確認してエビナットを押し当ててください。

- 6** エビナットを母材の下穴に垂直に挿入しツバを母材に押し付けるようにして、トリガースイッチを引いてください。エビナットがかしめられた後、スクリーマンドレルが逆転してエビナットから抜けます。



作業灯が ON になっている場合は、点灯から点滅に変わります。

### ⚠ 注意

本機と母材に隙間があったり母材に対して斜めに傾けてご使用になられると、エビナットがスクリーマンドレルに噛み込んでスクリーマンドレルが抜けなかったり、スクリーマンドレルの折損の原因となります。

## 異常時の対処方法

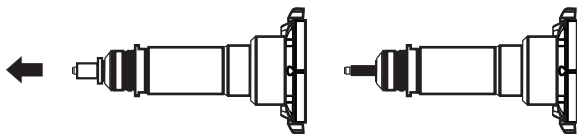
### <トリガースイッチを引いてもエビナットがかしめられない>

エビナットが正常に取り込みできていない場合、モニターにエラーが表示されエビナットをかしめられません。(作業灯 ON/OFF ボタンが ON の場合は作業灯は点灯になりません)

取り込みエラー表示



- 1 正逆スイッチを逆転に入れエビナットを軽くつまみながらスクリーマンドレルを逆転させてエビナットを取り除いてください。



手でエビナットを軽くつまみながらスクリーマンドレルを逆転させる

### ⚠ 注意

手でエビナットを回して取り除いても取り込みエラーは解除されません。手で回してエビナットを外した場合でも、正逆スイッチを逆転に入れてトリガースイッチを引き、取り込みエラーを解除してください。

- 2 エビナットを取り込んだ時にスクリーマンドレルの突き出しが先端のねじ山1山程度になるように再度調整してください。(P18 参照)

## <エビナットがスクリーマンドレルに噛み込んで抜けない>

- 1** 電池パックを必ず外してください。

### ⚠ 注意

不意に機体が動いて怪我をする場合があります。

- 2** 付属の六角レンチ(対辺 4mm)を機体後方の六角穴に差し込み、左回り(反時計回り)に回転させてスクリーマンドレルを強制的にまわしてエビナットを抜いてください。その後、右回り(時計周り)に3回転程させて戻してください。

1. エビナットが抜ける  
まで左回り

2. エビナットが抜けたら  
右に3回転



### ⚠ 注意

作業後は六角レンチを必ず外してください。

※六角棒レンチを差し込んだまま、エビナットが外れた後も過剰に回し続けると、センサーに反応してモーターが作動し、差し込んだままの六角棒レンチが回転し始める可能性があります。必ず、電池パックを取り外してから作業してください。

- 3** 電池パックを装着して次のエビナットを取り込んでください。

### ⚠ 注意

この作業後にモニターにエラー表示が無く、エビナットを押し当ててもスクリーマンドレルが動かない症状が出た場合は、再度電池パックを外して六角穴に六角棒レンチを挿入し、右回り(時計周り)に3回転程させて戻してください。

## 各部の清掃、点検

### <充電器の点検>

電源プラグをコンセントから抜いてから電源ケーブルが破損していないか、端子部にゴミ等がないか確認してください。

### <清掃>

機体、電池パック及び充電器は、やわらかい布でふいてください。  
シンナー・ベンジン等の有機溶剤の使用は変形、変色、割れ等の原因となります。

### <電池パックの寿命>

電池パックには寿命があります。正しく充電しても極端にかしめ個数が少なくなった場合は、電池パックの寿命です。新しい電池パックにお取替えください。

### ⚠ 警告

当社指定以外の電池パックや改造されたもの（電池パック内の蓄電池等を交換したものを含む）を絶対に使用しないでください。

使用された場合の事故・故障については、一切の責任を負いません。

### <リサイクルについて>

- ・本機に使用している電池パックは、リサイクル可能なリチウムイオン電池です。
- ・貴重な資源のリサイクルと環境保護の為にご不要になった電池パックは、お買い上げの販売店へお持ち頂けますようお願いいたします。（電池パックは、短絡（ショート）防止のため必ず端子部に絶縁テープ等を貼ってください。）
- ・工具を廃棄する際は、国・各自治体の廃棄物に関する法、規制、条例等に従って処分してください。



## 保管方法

使用後はお子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。  
また長時間使用されない場合は、電池パックを本体より取り外しておいてください。  
長期間（6ヶ月以上）使用しない場合は35℃以下の場所で保管してください。  
電池パックの過放電を防ぐため定期的に応用充電容量まで充電を行なってください。  
また、本体や充電器に挿したまま保管しないでください。

## ●エラー表示一覧

エラー表示	エラー内容	解除方法
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE &lt;表示が点滅&gt;</p>	<p>エビナット取り込みエラー ナットがノーズピースに当たるまで取り込まれていない。</p>	<p>正逆スイッチを逆転に入れてトリガースイッチを引いてスクリーマンドレルを逆転させ、エビナットをスクリーマンドレルから取り除いてください。エビナットを取り除いた後は正逆スイッチは正転に戻して下さい。(P.26 参照)</p>
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE &lt;表示が点滅&gt;</p>	<p>スクリーマンドレル初期位置異常 スクリーマンドレルが初期位置にいない。</p>	<p>正逆スイッチを逆転に入れてトリガースイッチを引いてください。スクリーマンドレルが初期位置へ移動します。その後は正逆スイッチを正転に戻して下さい。(P.26 参照)</p>
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE</p>	<p>ストローク設定エラー</p>	<p>Select ボタンを 5 秒以上長押ししてください。作業が可能な状態に復帰します。</p>
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE</p>	<p>出力設定エラー</p>	<p>Select ボタンを 5 秒以上長押ししてください。作業が可能な状態に復帰します。</p>
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE</p>	<p>過電流エラー 機体内に過電流が流れた。</p>	<p>Select ボタンを 5 秒以上長押ししてください。再度エラーが表示される場合は涼しい場所にしばらく放置してください。</p>
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE</p>	<p>モーター高温エラー モーターの温度が通常より高い。</p>	<p>Select ボタンを 5 秒以上長押ししてください。再度エラーが表示される場合は涼しい場所にしばらく放置してください。</p>
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE</p>	<p>モーター制御回路高温エラー モーターの制御回路の温度が通常より高い。</p>	<p>Select ボタンを 5 秒以上長押ししてください。再度エラーが表示される場合は涼しい場所にしばらく放置してください。</p>
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE</p>	<p>電池パック高温エラー 電池パックの温度が通常より高い。</p>	<p>Select ボタンを 5 秒以上長押ししてください。再度エラーが表示される場合は電池パックの温度が下がるまで待つか交換してください。</p>
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE</p>	<p>電池パック低温エラー 電池パックの温度が通常より低い。</p>	<p>Select ボタンを 5 秒以上長押ししてください。再度エラーが表示される場合は暖かい場所にしばらく放置するか電池パックを交換してください。</p>
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE</p>	<p>電池パック高電圧エラー 電池パックからの供給電圧が何らかの原因で通常よりも高くなった。</p>	<p>Select ボタンを 5 秒以上長押ししてください。再度エラーが表示される場合は電池パックを交換してください。</p>
<p>△ No STROKE ▽ LOCK FORCE</p>	<p>電池パック低電圧エラー 電池パックからの供給電圧が何らかの原因で通常よりも低くなった。</p>	<p>Select ボタンを 5 秒以上長押ししてください。再度エラーが表示される場合は電池パックを交換してください。</p>



## ●各エビナットの出力設定表

ねじサイズ		M3	M4				M5			
品番		3M	4M	415M	425M	435M	5M	515M	525M	535M
品番 (NTK)		3M15	4M	4M20	4M25	4M35	5M	-	5M30	-
NSK	出力番号	05	30	20	15	20	40	45	45	35
NSD	出力番号	-	40	15	15	15	70	40	45	50
NAK	出力番号	-	10	10	10	05	20	15	15	15
NAD	出力番号	-	10	10	05	05	20	20	15	15
NTK	出力番号	30	40	40	35	40	55	-	55	-
NSK-MR	出力番号	-	30	-	-	-	45	-	-	-
NSD-MR	出力番号	-	15	-	-	-	50	-	-	-

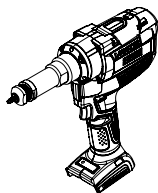
ねじサイズ		M6			M8			M10		
品番		6M	625M	640M	8M	825M	840M	10M	1025M	1040M
品番 (NTK)		6M	-	6M40	8M	-	8M40	10M	-	10M40
NSK	出力番号	60	55	65	65	80	85	80	85	95
NSD	出力番号	65	60	60	85	85	85	-	85	85
NAK	出力番号	40	45	45	70	50	55	-	55	55
NAD	出力番号	45	45	50	55	50	65	-	55	50
NTK	出力番号	55	-	70	65	-	99	65	-	95
NSK-MR	出力番号	60	-	-	95	-	-	99	-	-
NSD-MR	出力番号	70	-	-	95	-	-	-	-	-

※ エビナット NSK-6M をご使用の場合、設定は「60」となります。

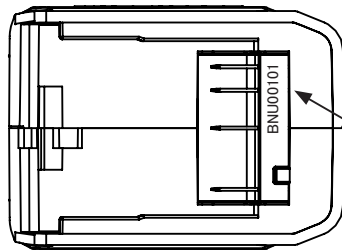
※ 表の“-”は当社標準エビナットでは存在しません。

## ●シリアルNo.

※ コードレスナッター本体のシリアル No. は本体底面に 3 桁の英字「(製造年月)」と 5 桁の数字で表示されています。



↑  
本体底面



↑  
シリアル No.  
記載箇所

製造年月の見方

製造年月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
略号	A	B	M	N	K	W	T	Y	U	O	L	Z

例) 20 ② ④ 年 ⑨ 月

↓ ↓ ↓  
B N U

シリアル No.




⇒ BNU00000



## ●故障かな？と思ったら

故障とお考えの前に以下の項目の確認を行なってください。全て確認しても当てはまらない場合は当社にお問い合わせ又は修理を依頼してください。

お問い合わせ又は修理依頼の際は、以下の項目を確認していただき、使用状況、症状等を出来るだけ詳しく連絡していただけますと、修理上がり納期を短縮することにもなりますのでよろしくお願いたします。

※表中ではスクリーマンドレルをマンドレルと表記します。

症 状	原 因	処 置
エビナットを押し当ててもマンドレルが回転しない。 モニター表示の1番左が「E」 	正逆スイッチが逆転に入っている。	正逆スイッチを正転に入れてください。(P.26 参照)
エビナットを押し当ててもマンドレルが回転しない。 モニターにエラー表示が出ている。 	すでにエビナット取り込み動作を行っている。(マンドレルが初期位置にない。)	安全及び機体の損傷を防ぐ為、連続して取り込み動作を行うことが出来ない仕様となっております。逆転動作をさせてマンドレルを初期位置に戻してください。(P.26 参照)
エビナットを押し当ててもマンドレルが回転しない。 モニターにエラー表示無し。	電池パックが空になっている。	電池パックを充電してください。
	機体の電源が入っていない。	トリガースイッチを押して電源を入れてください。
	噛み込んだエビナットを、六角棒レンチを使用して強制的にマンドレルを回して抜いた後、右回りに3回転を忘れていている。	エビナットを取り除く際は、電池パックを外し、機体後方に付属の六角棒レンチを挿入しマンドレルを左回転させて下さい。その後、右回りに3回転させてください。(P.27 参照)
マンドレルが正転するがエビナットを取り込まない。	マンドレルのサイズがエビナットに合っていない。	サイズに合ったマンドレルに交換してください。
	マンドレルのねじ山にゴミが付着している。	マンドレルに付着しているゴミを取り除いてください。
	マンドレルのねじ山が摩耗又は損傷している。	新しいマンドレルと交換してください。
	エビナットのねじ山が損傷している。	違うエビナットを使用してください。
トリガースイッチを引いてもエビナットがかしまらない。 	エビナットがきちんと取り込まれていない。モニターに下記のエラー表示がある。	正逆スイッチを逆転に入れてエビナットをマンドレルから外し、正転に戻して取り込み直してください。(P.26 参照)
		マンドレルのねじ山が摩耗又は損傷していないか確認してください。
		マンドレルの突き出しを見直してください。

症 状	原 因	処 置
トリガースイッチを引いてもエビナットがかしまらない。	正逆スイッチが中間の位置にある。 	正逆スイッチを正転に入れて下さい。 
	ストロークが短過ぎてエビナットをかしまられない。	ストローク設定を見直してください。(P.19 参照)
	出力が小さ過ぎてエビナットをかしまられない。	出力設定を見直して下さい。(P.19 参照)
かした後にエビナットがマンドレルから抜けれない。	マンドレルの突き出しが長過ぎる。	マンドレルの突き出しを見直してください。エビナットを取り除く際は、電池パックを外し、機体後方に付属の六角棒レンチを挿入しマンドレルを左回転させて下さい。その後、右回りに3回転させてください。(P.18, 27 参照)
かした後にエビナットがマンドレルに食い付き離れない。	エビナットをかしま過ぎてエビナットのねじ山を破損させている。	ストロークが過剰もしくは出力が高過ぎるおそれがあります。設定を見直してください。エビナットを取り除く際は、電池パックを外し、機体後方に付属の六角棒レンチを挿入しマンドレルを左回転させて下さい。その後、右回りに3回転させてください。(P.19, 27 参照)
マンドレルが損傷・折損する	マンドレルの寿命。	新しいマンドレルと交換してください。
	同じエビナットを2度かした。	エビナットは2度かしまないでください。
	機体を傾けた状態でエビナットをかした。	機体は母材に対して垂直になるように使用してください。
かした後のエビナットが空回りする。	エビナットがかしめ足りない。	ストロークが過少もしくは出力が低過ぎます。設定を見直してください。(P.19 参照)
トリガースイッチを引いても電源が入らない。	電池パックが空になっている。	電池パックを充電してください。
	電池パックと本体の接点部にゴミや汚れが付着している。	付着したゴミを取り除いてください。
	過負荷により電池パックの保護機能が働いている。	過負荷の原因を取り除いてください。
作業灯が点灯しない。	非点灯設定になっている。	作業灯 ON/OFF スイッチを押してください。(P.24 参照)
満充電でかしまられるナットが大幅に少なくなった。	電池パックの寿命。	新しい電池パックと交換してください。
電池パックを充電器に差し込んでも充電されない。	電源ケーブルが接続されていない。	電源ケーブルをコンセントに差し込んでください。
	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	付着したゴミを取り除いてください。作業はコンセントから抜いた状態で行ってください。
充電完了までに時間がかかる。	電池パックが通常より高温になっている。熱を持っている。(橙点滅・充電待機中)	電池パックの温度が下がるまで待ってから充電してください。
	電池パックが通常より低温になっている。	電池パックを10°C以上の場所で1時間程度放置してから充電してください。

## ●部品の注文方法

以下のように機種名・部品名・コード No.・数量を明記して、お買い上げの販売店、又は当社コールセンターまでご注文ください。

機種名	部品名	コードNo.	数量
N1B1	ノーズピース M3	71773	1個
N1B1	スクリューマンドレル M3	71779	1個

※部品が改良された場合、旧製品の在庫は5年間となっておりますのでご了承ください。

## ●コードレスナッター N1B1 部品一覧表

番号	部品名 /N1B1	コード No.	消耗部品	材質
(1)	ノーズピース M3	71773	○	スチール
(2)	ノーズピース M4	71774	○	スチール
(3)	ノーズピース M5	71775	○	スチール
4	ノーズピース M6 ※	71776	○	スチール
(5)	ノーズピース M8	71777	○	スチール
(6)	ノーズピース M10	71778	○	スチール
(7)	スクリューマンドレル M3	71779	○	スチール
(8)	スクリューマンドレル M4	71780	○	スチール
(9)	スクリューマンドレル M5	71781	○	スチール
10	スクリューマンドレル M6 ※	71782	○	スチール
(11)	スクリューマンドレル M8	71783	○	スチール
(12)	スクリューマンドレル M10	71784	○	スチール
13	ロックナット※	71785	-	スチール
(14)	板スパナ	71817	-	スチール
(15)	六角棒レンチ	71818	-	スチール
16	電池パック BPL-1825	474	○	①

- ・※マークの部品が出荷時に組付けられています。括弧付きの部品番号は付属品です。
- ・消耗部品の項目に○印がある部品は定期的な交換が必要とされている部品です。
- ・材質①はリチウムイオン蓄電池です。法令等に従ってリサイクルを行なってください。

### オプション品

17	大容量電池パック BPL-1850	476	○	①
----	-------------------	-----	---	---

### 充電器

18	充電器 BC037T	9579		電子機器
19	電源ケーブル (PSE)	68758	○	②

- ・BC037T には電源ケーブルが同梱されています。
- ・材質②には銅、プラスチック、ゴムが含まれています。

●コードレスナッター N1B1 部品図

